

川口の教育



【 令和7年度 南平幼稚園 祝50周年 運動会 】

第677号

【目次】

指導の手引き 「生徒指導提要といじめの対応について」

川口市教育局学校教育部指導課 指導主事 水谷 啓人 (2)

私の教育実践 「主体的な学びを促進する数学科授業実践～見通し・振り返り・学び合いを通して～」

川口市立芝東中学校 教諭 柘上 彩香 (3)

令和7年度 第77回 川口市中学校英語弁論暗唱大会について (4)

令和7年度 第53回 川口市児童・生徒発明創意工夫展について (5)

令和7年度市民体育祭中学校の部並びに令和7年度埼玉県新人体育大会

兼県民総合スポーツ大会（中学校の部）結果 (6, 7)

教育ルポ (8～10)

教職員事故防止強化運動について (11)

10 月号

—令和7年—

編集・発行 川口市教育委員会

はじめに

令和4年12月改定の「生徒指導提要」では、時代の変化に合わせて、児童生徒が未来の社会において充実して生きる力を身につけるために「させる生徒指導」から児童生徒の主体的な成長・発達を「支える生徒指導」への転換を目指すことが柱の1つとして示されている。そこで、「支える生徒指導」と「いじめの対応」について述べる。

1 「支える生徒指導」について

(1) 「させる生徒指導」から「支える生徒指導」へ

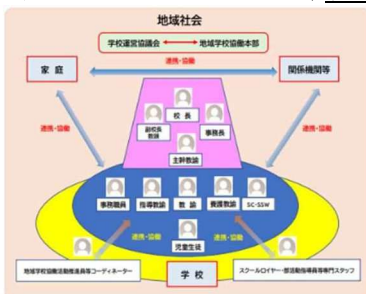
児童生徒一人一人の発達段階や背景を理解し、主体的な成長を支援する方向へと、生徒指導の理念が大きく変化したことを意味している。

従来の生徒指導では、教師が主導して望ましい行動を「させる」ことに重点を置いていた。例えば、授業中に私語が多い児童生徒に「静かにしなさい」と強く注意し、反省文を書かせるなどの、児童生徒の行動の結果や規則の順守を重視し、集団の秩序維持を目的とする傾向の指導が見られた。しかし、このような指導では、行動の是正には一定の効果がある一方で、「なぜその行動に至ったのか」という背景理解や、「自ら考え、行動を変える力」を育てる視点が不足しがちである。「支える生徒指導」では、児童生徒の自己理解・自己決定を促し、成長を支えることを目的にしていることから、授業中に私語が多い児童生徒に「今日は集中することが難しそうだけど、何か気になることがある？」などの声かけをすることで、児童生徒の状況を共有して学習意欲を回復させる指導に繋げる。教師が一方的に指示を出すのではなく、児童生徒の思い・背景・環境に寄り添い、自分で考えて行動を変える力を育てる。

「支える生徒指導」への転換は、単に指導方法をかえることだけではなく、教師と児童生徒の関係性そのものを見直す改革である。一人一人の児童生徒の声に耳を傾け、安心して成長できる学校づくりを進めていただきたい。

(2) チーム学校による生徒指導体制

生徒指導は、特定の教師の業務ではない。管理職・担任・生徒指導主任・養護教諭・特別支援教育コーディネーター・SC・SSW・部活動指導員等がそれぞれの専門性を生かしながら協働して行う。その中で、意識していただきたいのが、報告・連絡・相談である。

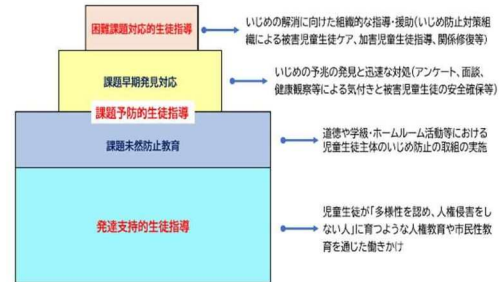


基本的な事ではあるが、小さな情報も、1人だけに留めず、複数人で共有する体制を構築する必要がある。特に「いじめ」事案では、徹底していただきたい。

2 「いじめ」の対応について

(1) いじめ対応の重層的支援構造

日常的に行う発達支持的生徒指導、課題未然防止教育を充実させ、いじめを生まない環境をつくることや児童生徒一人一人にいじめをしない態度・能力を身に付けさせることが重要である。



(2) 未然防止の取組の充実

未然防止として日々の教育活動において、次の4つの視点を意識し、児童生徒が安心して通える学校づくりを目指していく。

- | | |
|--------------|-------------------|
| ①自己有用感の感受 | } <u>わかる授業の展開</u> |
| ②共感的人間関係の育成 | |
| ③自己決定の場を与える | |
| ④安全・安心な風土の醸成 | |

(3) 早期発見・早期対応

- ①児童生徒のささいな変化に気付くこと
(表情・声・態度・服装・行動・友人関係・持ち物など)
- ②気付いた情報を確実に共有すること
 - 各校で作成している「いじめの防止等のための基本的な方針」に記載している組織において、情報共有と対応の検討をする。
 - 5W1H (いつ、どこで、誰が、誰と、何を、どのように) を確実に記録し、職員がいつでも共有できるようにする。
- ③速やかに対応すること
 - 組織で検討した対応(指導)方針に基づき、聴き取り、指導、保護者への連絡、見届け等を行う。

(4) 法に則った対応

いじめの対応については、法に則った対応と被害者に寄り添った組織的な対応が重要となる。「見逃しゼロ」、「見過ごしゼロ」を目指した積極的認知に加え、未然防止の視点で取組の充実を図っていただきたい。

おわりに

川口市のすべての児童生徒が安全・安心に生活ができる学校で学び、自己の可能性を伸ばしていけるよう、これからも、温かく、かつ確かな支援を行う「支える生徒指導」の実践と「いじめを絶対に許さない」学校づくりをお願いしたい。

参考資料

- 生徒指導提要 (令和4年12月文部科学省)
- I's 2019 (埼玉県教育委員会)
- 生徒指導リーフ (国立教育政策研究所)
- いじめの重大事態の調査
に関するガイドライン
(令和6年8月改訂版)



【生徒指導提要】



【ガイドライン】

<私の教育実践>

「主体的な学びを促進する数学科授業実践～見通し・振り返り・学び合いを通して～」

川口市立芝東中学校 教諭 柘上 彩香



1 はじめに

現行の学習指導要領では「主体的・対話的で深い学びの実現」が求められている。数学科においても、知識や技能の習得にとどまらず、生徒が自らの学習を振り返り、次に生かすことのできる力を育成することが重要である。本稿では、その実現に向けて「見通しと振り返りを重視した授業構成」「自己評価カードによる学習理解度の可視化」「一授業一板書による学習内容の整理」「リトルティーチャーの活用による相互学習」の四つの工夫を柱とした授業実践を紹介する。

2 見通しと振り返りのある授業と自己評価カードの活用

授業冒頭においては「本時の目標」と「学習の流れ」を明確に提示し、生徒に見通しを持たせるようにした。特に「今日の学習を通して何ができるようになるか」といった、学習活動に対する目的意識を高めた。授業の終末には「できたこと」「まだ課題が残ること」を短く記述する振り返り活動を行い、その延長として自己評価カードを用いた。カードには理解度を3段階で自己評価させる欄に加え、疑問点や解決できたことを自由記述させた。これを収集・分析し、次時の授業冒頭で全体の傾向を共有した上で必要な復習を行った。これにより、生徒が自らの理解状況を客観的に把握すると同時に、授業と授業のつながりが明確化された。

自己評価カード

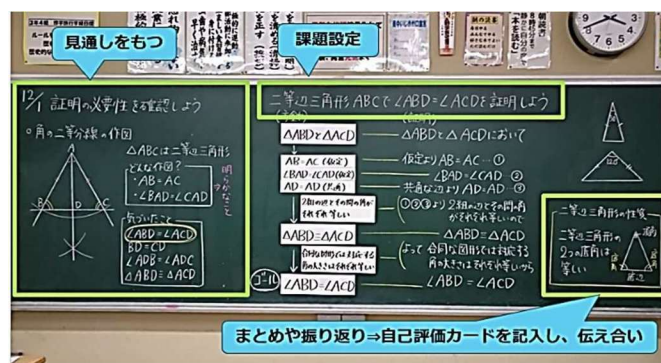
数学自己評価カード (第1章 式の展開と因数分解)									
今日の学習を通して、自分の理解度を3段階で評価しよう。★自己評価 人に教えられるまでで満足した一歩 理解、それなかった一歩									
例/科目	単元	学習の振り返り	理解度	疑問点	解決できたこと	自由記述	自己評価	評価	備考
例/数学	2	式の展開と因数分解	7	35	「式の展開」がまだ苦手なところがある	「式の展開」が「式の因数分解」の基礎となることを理解できた。	①B ②C	10	
1	1						A B C		
2	2						A B C		

3 一授業一板書

板書については「一授業一板書」を原則とし、その時間で扱った内容を一枚の板書に整理することを意識した。具体的には、学習課題、解法の手順、重要な定義や定理、まとめを一つの流れの中で配置した。これにより、生徒にとって板書が「その授業の全体像」を示すものとなり、授業後にノートを見返すだけで

復習可能となった。また、家庭学習においても板書を中心に学習の再現が可能となり、学びの継続性を確保できた。

板書例 (2年「二等辺三角形の性質の証明」より)



4 リトルティーチャーの活用

授業中に解法の理解が進んだ生徒をリトルティーチャーとして指名し、友人に向けて説明させる場面を設けた。説明を行う生徒にとっては、自らの理解を整理し直す機会となり、学びの定着が促進された。一方、聞き手となる生徒にとっても、教師とは異なる同年代の言葉で説明を受けることにより、新たな視点で理解を深めることができた。このような相互学習の場は学級の学び合いの雰囲気を醸成し、数学を仲間とともに探究する姿勢を育成する効果があった。

リトルティーチャーを活用した授業の生徒の感想

今日は、近くの席の人に証明の手順を上手に教えてもらって、自分の理解も深まった。



5 おわりに

本実践では、「見通しと振り返り」「自己評価カード」「一授業一板書」「リトルティーチャー」という四つの工夫を通して、生徒が主体的に学習に向かい、自らの学びを自覚できるような授業づくりを行った。これらは相互に関連し合い、生徒が目標を意識しながら学びを進め、授業の終末に振り返りを行い、その成果や課題を次につなげるという一連の学習サイクルを構成することに寄与した。今後も、これらの工夫・改善を重ねながら、数学科における主体的・対話的で深い学びの実現を目指したい。

令和7年度 第77回 川口市中学校英語弁論暗唱大会

令和7年9月12日（金）SKIPシティ 映像ホール

今年度は、弁論の部19名、暗唱の部22名、合計41名が出場しました。生徒たちは、会場の参会者に向かって、自分の考えや思いを存分に英語で表現しました。生徒たちの挑戦と努力を讃えるとともに、指導者の皆様、そしてご家族でご支援してくださった保護者の皆様のご尽力に感謝申し上げます。

◆弁論の部



1位 幸並中	夏原 美凡	(3年) 県大会出場
2位 附属中	中田 喜美子	(3年) 県大会出場
3位 八幡木中	藤原 友香	(3年) 県大会出場
// 芝西中	閻 慧雅	(3年)
// 十二月田中	齊藤 朱俐	(3年)
// 榛松中	阿部 武月	(3年)



第2位

"Can Oshi Save the World?"



第1位

"A Small Plastic, A Big Problem"

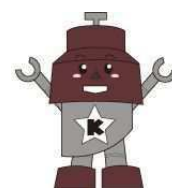


第3位

"Beyond the Classroom:
The Power of Girls' Education"

◆暗唱の部

1位 安行中	バルガス サムリ	(3年)
2位 戸塚西中	サティアギエロ-リンツカエロ	(3年)
3位 岸川中	古郷 傑	(1年)
// 南中	大村 椰々美	(3年)
// 安行東中	神武 小百合	(3年)
// 青木中	青木 美来	(3年)
// 北中	折本 雫	(3年)



第2位

"The Gettysburg Address
Abraham Lincoln"



第1位

"A Heart Found Its Home and Purpose"

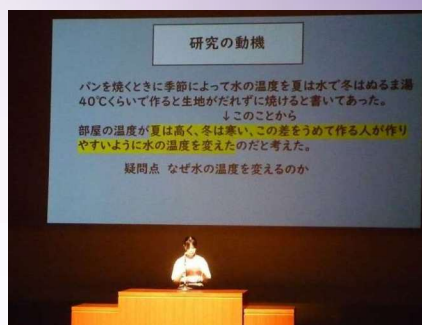


第3位

"O captain! My captain!"

令和7年度 第53回川口市児童・生徒発明創意工夫展

発表の部



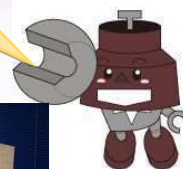
表彰式



作品展示会

令和7年9月20日(土) 21日(日)
於：川口市南平文化会館2階展示ホール

本年度も皆様のご協力のおかげで、
創意工夫のある素晴らしい作品が集
まりました。



令和7年度市民体育祭中学校の部並びに令和7年度埼玉県新人体育大会兼県民総合スポーツ大会(中学校の部)結果

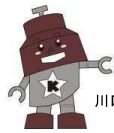
市大会 9月19日～10月4日

競 技 種 目	市 大 会 結 果 ☆印 県大会出場校					
	1 位		2位		3 位	
軟 式 野 球	☆ 北	☆ 幸並		西 十二月田		
サ ッ カ ー	☆ 西	☆ 戸塚西		☆ 八幡木		
				鳩ヶ谷		
	男 子			女 子		
	1 位	2 位	3 位	1 位	2 位	3 位
ソ フ ト ボ ー ル				☆ 在家	北	鳩ヶ谷 青木
ソ フ ト テ ニ ス (団 体)	☆ 上青木	☆ 鳩ヶ谷	☆ 芝東 南	☆ 上青木	☆ 西	☆ 芝東 東
ソ フ ト テ ニ ス (個 人)	☆ 網野・坂上 (上青木)	☆ 狩俣・戸口 (上青木)	☆若林・田島(鳩ヶ谷) ☆福田・真中(上青木)	☆ 佐藤・高橋 (芝東)	☆ 都竹・林 (上青木)	☆小林・成澤(西) ☆佐藤・菊池(里)
バスケットボール	☆ 榛松	☆ 十二月田	☆ 戸塚西 北	☆ 鳩ヶ谷	☆ 上青木	☆ 領家 青木
バ レ ー ボ ー ル	☆ 南	☆ 戸塚西	☆ 幸並 川口バレー	☆ 東	☆ 戸塚西	☆ 安行 榛松
卓 球 (団 体)	☆ 安行東	☆ 仲町	☆ 鳩ヶ谷 戸塚	☆ 南	☆ 鳩ヶ谷	☆ 在家 幸並
卓 球 (シ ン グ ル ス)	☆ 笹沼 (在家)	☆ 中村 (八幡木)	☆上村(東) ☆榎本(鳩ヶ谷)	☆ 渡部 (南)	☆ 菅沼 (在家)	☆及川(西) ☆細渕(南)
卓 球 (ダ ブ ル ス)	☆ 江森・佐藤 (安行東)	☆ 森本・関根 (西)	☆関・渡邊(西) ☆阿部・小山(安行東)	☆ 石川・土屋 (西)	☆ 神永・上野 (在家)	☆大谷・陳(南) ☆岩崎・池田(南)
ハ ン ド ボ ー ル	☆ 十二月田	☆ 神根	☆HC川口 ☆東	☆ 東	☆ 戸塚西	☆十二月田 ☆HC川口
バ ド ミ ン ト ン (団 体)	☆ 在家	☆ 北	☆ 小谷場 岸川	☆ 八幡木	☆ 岸川	芝東 小谷場
バ ド ミ ン ト ン (シ ン グ ル ス)	☆ 法本 (芝)	☆ 五十嵐 (北)	☆三井田(小谷場) ☆石田(戸塚)	☆ 大関 (八幡木)	☆ 西牧 (岸川)	☆橋(岸川) 遠藤(八幡木)
バ ド ミ ン ト ン (ダ ブ ル ス)	☆ 雁金・法本 (芝)	☆ 石田・大谷 (戸塚)	☆五十嵐・池田(北) ☆河相・加藤(在家)	☆ 遠藤・大関 (八幡木)	☆ 橋・西牧 (岸川)	☆川島・早船(岸川) 濱野・泉(芝東)
体 操 競 技 (団 体)	☆ 戸塚西	☆ 芝西		☆ 戸塚西		
体 操 競 技 (個 人)	☆ 日比 (芝東)	☆ 西村 (戸塚西)	☆大高(戸塚西) ☆茂田(芝西)	☆ 植松 (神根)	☆ 隅川 (芝西)	☆芦沢(戸塚西) ☆黒坂(戸塚西)
新 体 操 (個 人)				☆ 久保田 (安行)	☆ 小林 (芝西)	☆相澤(戸塚西) ☆出本(芝西)

柔 道 (団 体)	男 子			女 子		
	1 位	2 位	3 位	1 位	2 位	3 位
	☆ 安行東	☆ YAWARA	☆ 戸塚 ☆ 十二月田	☆ 川口柔連	☆ 安行東	☆ 西 芝東
柔 道 (個 人 優 勝)	-50kg -55kg -60kg -66kg -73kg -81kg -90kg 90kg超	☆武藤(西) ☆今村(安行東) ☆石川(戸塚) ☆林(安行) ☆岩橋(川口柔連) ☆西村(YAWARA) ☆関(志陽館) ☆阿部(YAWARA)		-40kg -44kg -48kg -52kg -57kg -63kg -70kg 70kg超	☆吉田(安行東) ☆朝倉(川口柔連) ☆河原(安行東) ☆森(安行東) ☆牧(西) ☆後藤(川口柔連) ☆井村(安行東) ☆大原(芝東)	
剣 道 (団 体)	☆ 幸並	☆ 安行	☆ 十二月田 上青木	☆ 戸塚	☆ 東	☆ 戸塚西 安行東
剣 道 (個 人)	☆ 渡邊 (安行)	☆ 高橋 (十二月田)	☆柴田(幸並) ☆駒谷(上青木)	☆ 白石 (岸川)	☆ 杉崎 (十二月田)	☆菊池(北) ☆松原(安行)
相 撲						
陸 上 競 技	1 里	2 安行	3 東	1 里	2 安行東	3 戸塚
	4 幸並	5 芝東	6 戸塚	4 上青木	5 神根	6 鳩ヶ谷
水 泳 競 技	1 北	2 榛松	3 元郷	1 元郷	2 十二月田	3 北
	4 十二月田	5 東	6 安行	4 戸塚西	5 芝東	6 東
テ ニ ス						

陸上・水泳総合成績			
陸 上 競 技	1 位	2 位	3 位
	里	安行東	戸塚
水 泳 競 技	1 位	2 位	3 位
	北	元郷	十二月田

教育ルポ①



川口市マスコット「きゅぽらん」

「 令和7年度 市民体育祭中学校の部並びに令和7年度埼玉県新人体育大会
兼県民総合スポーツ大会（中学校の部）の様子 」



サッカー



バドミントン



剣道



新体操



ソフトテニス



柔道



軟式野球



バレーボール

教育ルポ②



「 令和7年度 市民体育祭中学校の部並びに令和7年度埼玉県新人体育大会
兼県民総合スポーツ大会（中学校の部）の様子 」



体操競技



水泳競技



卓球



ハンドボール



バスケットボール

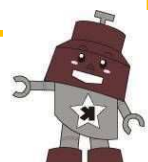


ソフトボール



陸上競技

令和7年度市民体育祭中学校の部
並びに令和7年度埼玉県新人体育大会
兼県民総合スポーツ大会が盛大に
開催されました。各会場では、日頃
の練習の成果を発揮し、全力で躍動
する生徒たちの姿が輝いていまし
た。



教育ルポ 各学校（園）の様子

上 青 木 南 小 学 校



科学教室



お話の木（読み聞かせ）



金管クラブ練習会



理科オリンピック

南 平 幼 稚 園 祝 5 0 周 年 運 動 会



年少「おすしのピクニック」



年少「ケーキ屋さんは大いそがし！」



年中「ぼくたちさくらのかいぞくだん！」



年中「しゅっぱつ しんこう！」



教職員事故防止強化運動



令和7年10月20日（月）～ 令和7年11月30日（日）

●目的：川口市事故防止における6つの重点課題にふれ、不祥事根絶に向けた自校教職員の当事者意識を高める倫理確立研修や短時間理解研修等に取り組む

●川口市事故防止における6つの重点課題

- ①「交通事故防止」
- ②「体罰・暴言の根絶」
- ③「ハラスメントの防止（パワハラ・セクハラ・マタハラ）」
- ④「わいせつ行為の根絶」
- ⑤「公金の適切な取扱い」
- ⑥「個人情報の適切な取扱い」

法令遵守は教育公務員の原則です。

教職員による交通事故防止に向けた啓発資料として、令和3年度より「STOP 教職員事故」を作成しています。過去の資料も活用し、教職員の当事者意識のさらなる向上に努めてください。

●交通事故防止の「あいうえお」

あ	おり運転は犯罪です！ ※十分な車間距離を保ち、安全運転を心がけましょう。
い	そがず、慌てず時間に余裕を！ ※相手に譲る気持ちで行動しましょう。
う	せつや左折が一番危険！ ※自転車・歩行者が来ていないか十分確認しましょう。
え	ブリタイム 全集中！ ※スマホを見るなどの「ながら運転」はしません！
お	酒を飲むなら運転しない！ ※という強い意志を持ちましょう。

●交通事故防止の「かきくけこ」

か	過信しないで、自分の運転技術！ ★教育公務員としての自覚を忘れずに。
き	厳しい処分につながることも！ ★懲戒処分の基準を確認しておこう。
く	繰り返さない、同じ事故！ ★自校から教職員事故は絶対に起こさない。
け	健康でなければ運転しない！ ★疲れ、寝不足等は事故の要因になります。
こ	心と時間にゆとりをもとう！ ★悩みや考え事も事故の要因になります。

●交通事故防止の「さしすせそ」

さ	左右の安全確認を忘れずに！ ★交差点での事故が多いです。
し	シートベルトやヘルメットを着用しよう！ ★命を守る行動をとりましょう。
す	スピードの出し過ぎに注意しよう！ ★法定速度を守りましょう。
せ	前後の安全確認を忘れずに！ ★渋滞中でも油断しません。
そ	想像しよう家族の顔！ ★家族のためにも事故0で！

●交通事故防止の「たちつと」

～もしも飲酒による死亡事故を起こしてしまったら～

た	逮捕・拘留されることにより、家族にも辛い役割を負わせてしまいます。世間からも厳しい目が向けられます。
ち	懲戒免職処分になり、収入がなくなり、退職金も一切支給されません。
つ	償いの日々が始まります。被害者やその家族には一生をかけて償い続けなければなりません。
て	テレビや新聞等で実名が報道されることで、家族・知人・学校関係者にも大きな影響を与えます。
と	取り返しのつかない現実が待っています。「なぜ、あとき酒を飲んでいたので車を運転してしまったのだろう」と悔やんでも悔やみきれません。

●交通事故防止の「なにぬねの」～油断するな～

な	ながら運転事故のもと！
に	日常的な道ほど油断するな！
ぬ	ぬかすな！ 急いでいても！
ね	眠くなったらいったん停まろう！
の	飲んだら乗るな！ 自転車も！

「自分には関係ない」と考えず、誰にでも、いつでも十分起こりうるという意識をもつことが重要です！そして、事故後の対応も迅速・誠実・丁寧にいきましょう！

